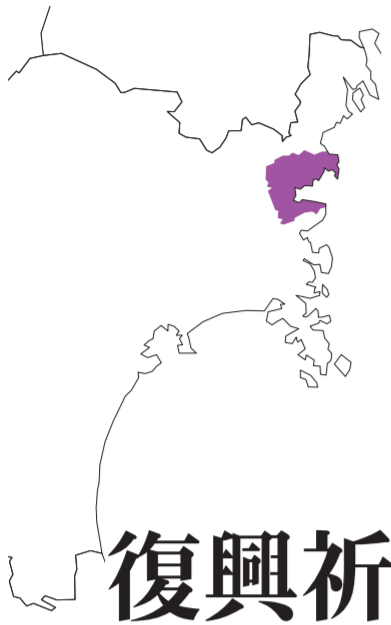
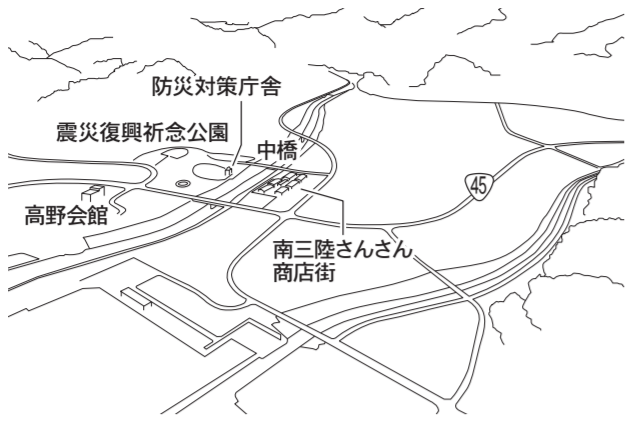


復興の歩み



宮城 南三陸町

復興祈念公園 記憶を刻む

宮城県南三陸町志津川地区の市街地は、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた。町役場庁舎だけでなく、災害対応拠点の町防災対策庁舎も被災し、ハザードマップの浸水想定域外でも多くの犠牲者が出た。

住民の命を守るため、町は高台移転を柱とする復興計画を策定。高台に防災集団移転団地や災害公営住宅を整備し、かさ上げされた低地部は商店街や水産加工場が並ぶ産業エリアとなった。

人口は震災前に比べて約4割減り、町は交流人口の拡大を通じたにぎわい創出に力を入れる。2017年3月、仮設商店街だった南三陸さんさん商店街がかさ上げ地に移転開業し、町を代表する観光スポットになった。三陸沿岸道の町内延伸により交通アクセスが良くなり、仙台市など都市部との人の行き来を後押しする。

基幹産業の漁業や林業の関係者との間に自然との共生や持続可能性を目指す動きが出ている。一部のカキ生産者は養殖の過密状態を見直し、品質や生産性の向上を実現した。一方、環境に配慮した林業を後押しする国際認証の取得による南三陸杉のブランド化も進む。

震災遺構としての保存か、解体かで揺れた防災対策庁舎は31年までの県有化が決まり、結論は先送りされた。骨組みのまま残る庁舎周辺エリアを含む町震災復興祈念公園が20年10月に全面開園。さんさん商店街と結ぶ中橋も同時に開通した。22年3月開館予定の震災伝承施設「南三陸311メモリアル」とともに、震災の記憶や教訓を町内外に発信する役割を担う。



町の観光交流拠点としてにぎわいをもたらす南三陸さんさん商店街。南三陸杉を使った木造平屋6棟に鮮魚や飲食など28店が入る＝2020年12月6日

● まちのデータ

人口	2020年12月1日	11年3月1日	増減率
	1万925人	1万7378人	-37.1%

復興交付金	1158億7813万円
-------	-------------

犠牲者	死亡	行方不明	関連死
	600人	211人	20人

住宅被害	全壊	半壊	一部破損
	3143棟	178棟	1204棟

※復興交付金は復興庁まとめて、南三陸町内で実施された宮城県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は県まとめ



2020年



2011年

● まちの動き

- 2011年**
 - 3月11日 地震発生。南三陸で震度6弱。津波浸水深は最大23.9mに達し、町内1144戸が浸水した。町役場や町防災対策庁舎も津波で水没
 - 8月31日 町内外58カ所に仮設住宅2195戸が完成し、最大5840人が入居
 - 10月21日 町内外145カ所の避難所全て閉鎖。ピーク時には9683人が避難
 - 12月26日 町震災復興計画策定
- 2012年**
 - 3月27日 町役場仮庁舎、公立南三陸診療所が完成
- 2013年**
 - 2月12日 災害公営住宅の建設始まる
 - 26日 防災集団移転促進事業が着工
- 2014年**
 - 3月24日 災害がれきの焼却処理が完了
 - 8月1日 災害公営住宅の入居開始
- 2015年**
 - 6月30日 佐藤仁町長が防災対策庁舎の県有化受け入れを表明
 - 12月14日 南三陸病院・総合ケアセンター南三陸が開業
- 2016年**
 - 6月1日 町地方卸売市場が完成
 - 10月30日 志津川インターチェンジの運用開始。三陸沿岸道が初めて町内に延伸
 - 12月31日 28団地827区画を整備し、防災集団移転促進事業が完了
- 2017年**
 - 3月3日 南三陸さんさん商店街が移転開業
 - 3月31日 災害公営住宅全738戸が完成
 - 4月23日 商店街「南三陸ハマーレ歌津」がオープン
 - 7月15日 サンオーレそではま海水浴場が震災後初の海開き
 - 9月3日 町役場新庁舎開庁
- 2018年**
 - 10月18日 志津川湾の藻場が、国際的に重要な湿地の保全を目指すラムサール条約の対象湿地に登録される
- 2019年**
 - 2月16日 三陸沿岸道の町内全区間が開通
 - 12月14日 仮設住宅の入居者ゼロに
- 2020年**
 - 10月12日 町震災復興祈念公園が全面開園。中橋も同時開通



2001年

● まちの宝



田束山のツツジ

山頂付近にヤマツツジ約5万本が生ずる。見頃は5月中旬。山肌を赤く染め、眼下に広がる新緑や青い太平洋と鮮やかなコントラストを織り成し、観光客を楽しませる。



南三陸キラキラ丼

夏はウニ、冬はイクラと旬の海産物をぜいたくに盛り付け、見た目も華やかな町の名物。町内の飲食店など約10店が提供する。店ごとに趣向を凝らし、キラキラの輝きで客をもてなす。

約10mかさ上げされ、南三陸さんさん商店街や町震災復興祈念公園が整備された志津川地区中心部。高台の造成地に住宅が並ぶ＝2020年11月18日

津波は海辺の町並みを跡形もなく押し流し、内陸深くまで到達した＝2011年3月18日

海沿いの低地に住宅や商店が密集する志津川地区中心部＝2001年5月(一般社団法人東北地域づくり協会提供)